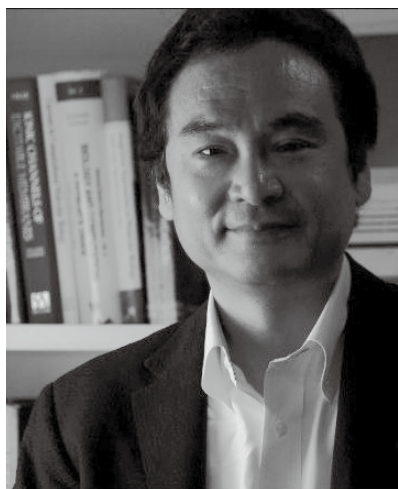


県民公開講演会

日時：10月13日(月・祝) 13:30～14:30
会場：第2会場 山形テルサ 1F テルサホール



唾液検査でがんを、血液検査でうつ病を診断 ～慶應鶴岡キャンパス発、世界最先端のメタボローム解析技術

慶應義塾大学先端生命科学研究所

とみた まさる
富田 勝

【略歴】

慶應大学工学部卒業。カーネギーメロン大学修士課程および博士課程修了、Ph.D(情報科学, 1985)。その後京都大学より工学博士(1994)、慶應大学より医学博士(1998)を取得。カーネギーメロン大学助手、助教授、准教授を経て、慶應義塾大学環境情報学部助教授、のちに教授。2005年～2007年環境情報学部学部長。ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)創業者。スパイバー(株)技術顧問。米国立科学財団大統領奨励賞、国際メタボローム学会功労賞、日本IBM科学賞、科学技術政策担当大臣賞、文部科学大臣表彰科学技術賞など受賞。



唾液検査でがんを、血液検査でうつ病を診断 ～慶應鶴岡キャンパス発、世界最先端のメタボローム解析技術

慶應義塾大学先端生命科学研究所 ^{とみた まさる} 富田 勝

慶應大学が 2001 年に鶴岡市に開設した先端生命科学研究所は、世界に先駆けてメタボローム解析技術を開発しました。一度の測定で数百種類の物質を一斉に分析できる究極の成分分析技術です。この技術を用いて唾液や血液を詳細に分析することで、様々ながんや肝臓疾患、そしてうつ病までも高い確率で発見できる可能性があります。このメタボローム解析を基盤にした慶大発ベンチャー企業「ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社」は、昨年 12 月に東証マザーズに上場し、庄内唯一の上場会社となりました。

本講演では、すでに実用化された遺伝子検査と合わせて、近未来の予防医学・個別化医療、そして健康長寿社会への貢献について論じます。